

※東北大会におけるその他の種目の結果は、
P26をご覧ください。



山本・琴丘 前沢(岩手)に惜敗

2校の絆 最後まで力強く

8月8日から10日、こまちスタジアム(秋田市)などにおいて開催された第54回若鷲旗争奪東北中学野球大会に、山本・琴丘中学校の合同チームが出場しました。9日に前沢との初戦に臨みますが、2-6と惜しくも敗退しました。

●2回戦

前沢 (岩手)	0 0 0 0 0 0 6	6
山本・琴丘	0 0 2 0 0 0 0	2



1回表、3塁ランナーを背負うピンチを迎えますが、要所を抑え無失点で切り抜けます。
その後は先発投手もペースを掴み、キレのある変化球を織り交ぜた丁寧な投球で、5回まで3安打無失点と好投します。
3回ウラ、上位打線の3連打で1点を先制。その後も内野安打などで2点目を追加し、山本・琴丘が試合の主導権を握ります。



▲先制の適時二塁打を放つ

全国出場に向けた大事な一戦。2点リードのまま最終回を迎え、勝利目前と思われました。
しかし7回表、先頭打者に出塁を許すと、前沢が反撃を始めます。投手交代で流れを変えようと試みますが、甘く入ったボールを痛打され、6失点で逆転を許します。それでも、バックホームで二度アウトを取るなど、最後まで諦めない姿勢で戦い抜きました。



最後の夏への想い 熱い声援届ける

東北大会という大舞台での選手たちの活躍を見届けようと、球場には保護者や卒業生、地域の方たちが多く駆けつけました。

先の県大会では、合同チームとして初の優勝。様々なハンデを抱える中、2校の絆で乗り越えての快挙でした。

この日は最終回に逆転を許す苦しい展開でしたが、最後まで勝利を信じ、声援が送られました。

琴丘中の卒業生は「なかなか県大会まで勝ち上がれない時期もあったが、統合前最後の年だからこそ来れたのはとても誇らしい。結果は残念ですが、胸を張ってほしい」と熱戦を終えた選手たちへ拍手を送りました。

